

海面変化と海成段丘

内容：「地理院地図」で、日本で、海成段丘を探して、海成段丘がどのようにして段々になったのかを考える。

作業手順

- ①別紙の高校教科書および「GoogleEarth で見える地図教材のページ」の地形のページの室戸岬と佐渡島の事例を参考にして、「地理院地図」で、日本で（室戸岬と佐渡島を除く）、海成段丘を探して、その位置を裏面の日本地図に記入する。地理院地図で、「色別標高図」を表示すると、探しやすい。次回の授業時に、その海成段丘を紹介してもらうので、地理院地図で再現できるようによく覚えておくこと。
- ②海成段丘を見て、高校教科書を参考にして、以下の問いに対する答えを考えて、記述する。

・海成段丘の段差は、何を意味するか？

・どのようにして、段々になったのかを考えて、段々になる過程の断面図を、右に描く。



